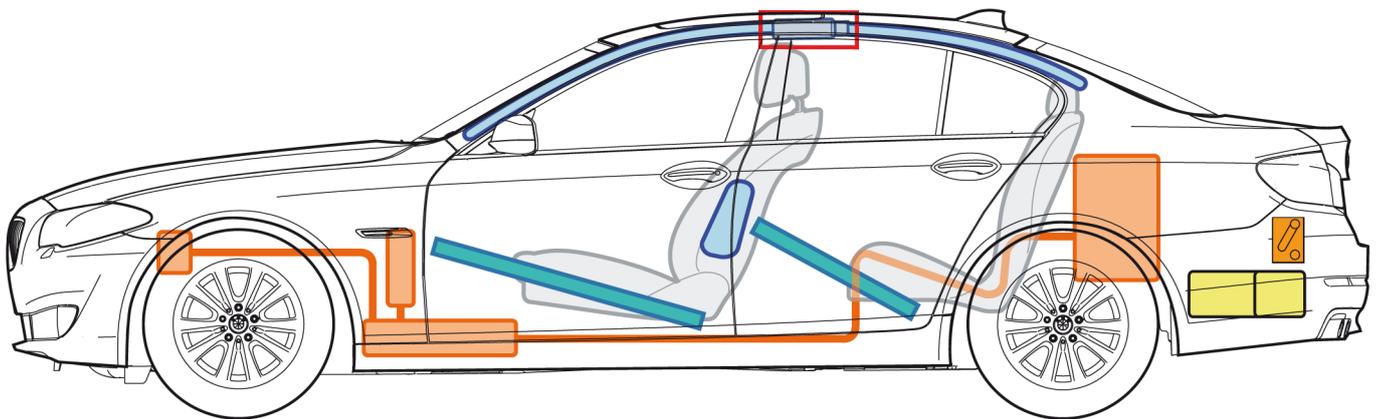
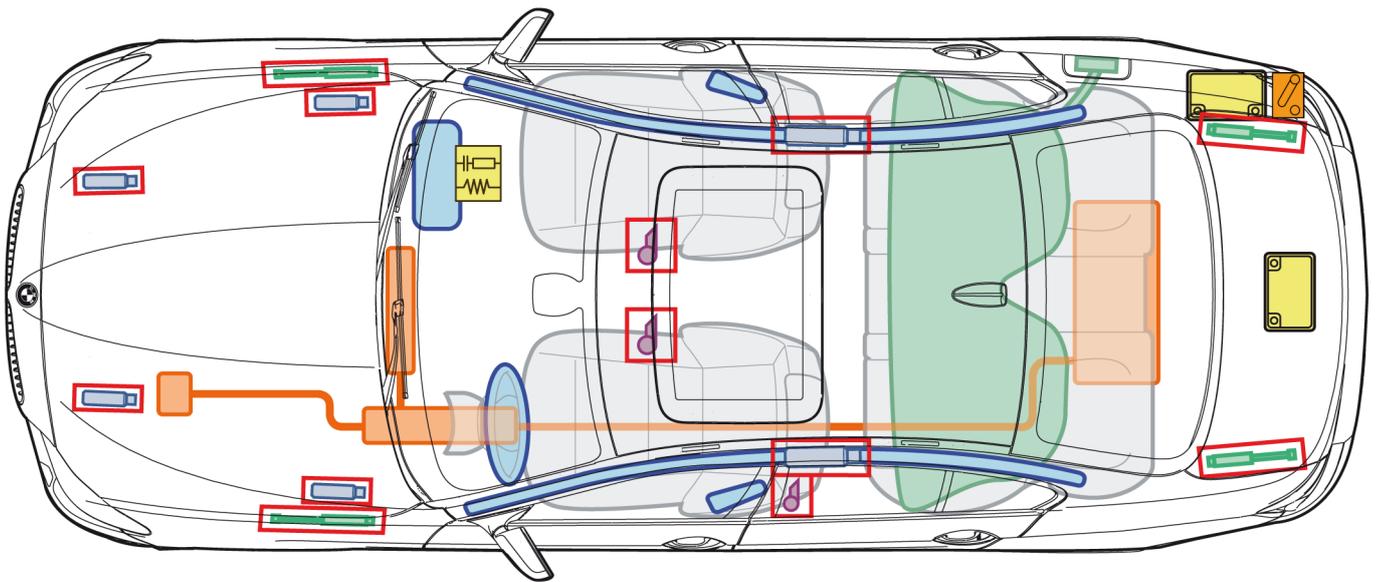


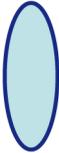
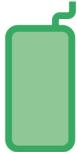


# 5 シリーズ Active Hybrid 5 F10

(2011 年 12 月以降)



## 説明

	エアバッグ		ボディ補強		エアバッグコントロールユニット		ハイボルテージ安全スイッチ
	ガスジェネレーター		ガスショックアブソーバー		12V バッテリー		
	シートベルトテンショナー		フューエルタンク		ハイボルテージコンポーネント		

この概要では、車両の最大装備を示しています。



生命の危険がある！

ハイボルテージ コンポーネントには触れないこと！

特徴：

直流電圧を伴うハイボルテージシステムは385Vまでです！

以下にアクティブハイブリッドの識別用特徴および詳細を記載しています。

。 識別特徴：

トランク リッド、フロント フェンダーおよびフロント エントランス レールに「Active Hybrid」のモデル バッジ。



。 車両を動かさないように固定してください。



ボタン「P」を押します。



電気パーキング ブレーキスイッチを上方向に引きます。

。

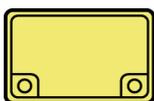


**エアバッグが作動しました**

エアバッグの作動を伴う事故では、ハイ ボルテージ システムは自動的に作動解除されま  
す(電圧がない状態)。

。

。 駆動系とハイ ボルテージ システムの作動を解除します(電圧をなくす)バリエーション 1- エアバッグが作動して  
いない。



**特記事項:**

**基本的に 12 V バッテリーのマイナス極を分離する必要があります。**

両方の 12 V バッテリー マイナス端子を分離することによって、ハイ ボルテージ システ  
ムは自動的に作動解除されます (無電圧状態になる)。

(イグニッションと 12 V バッテリーに手が届く)

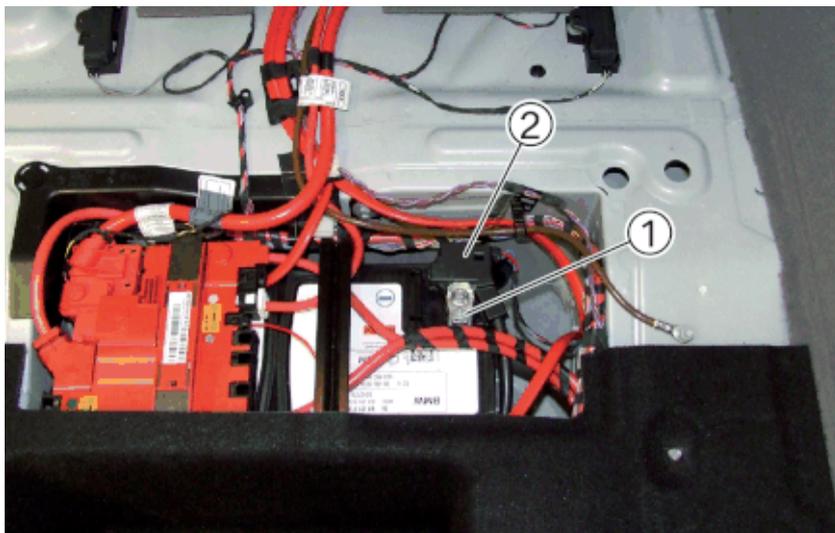


1. 1 エンジン作動中かメーター パネルの表示が作動している場合には、「START STOP ENGINE」ボタンを押  
してイグニッションをオフにしてください。

。

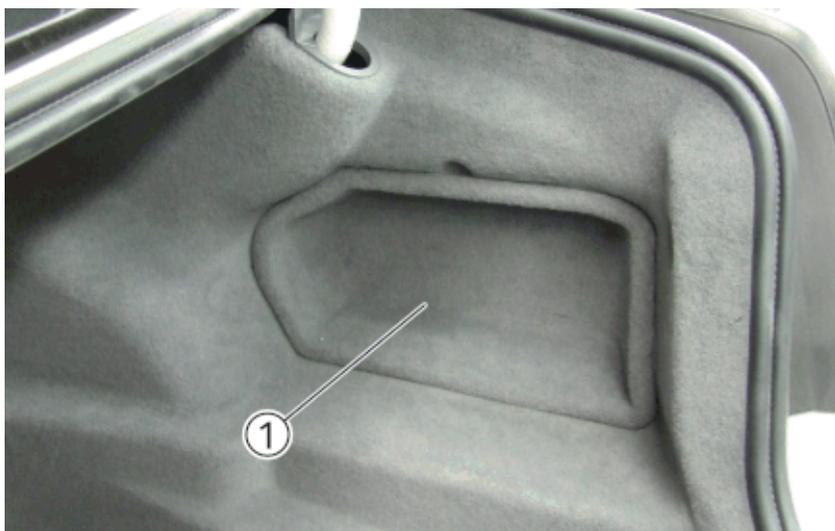


2. トランク リッドを開け、ラゲッジ ルーム フロア トリム パネル(1)を上げて開けます。  
プラスチック ナット (2) を外し、ラゲッジ ルーム フロア トリム パネル (1) を取り出します。

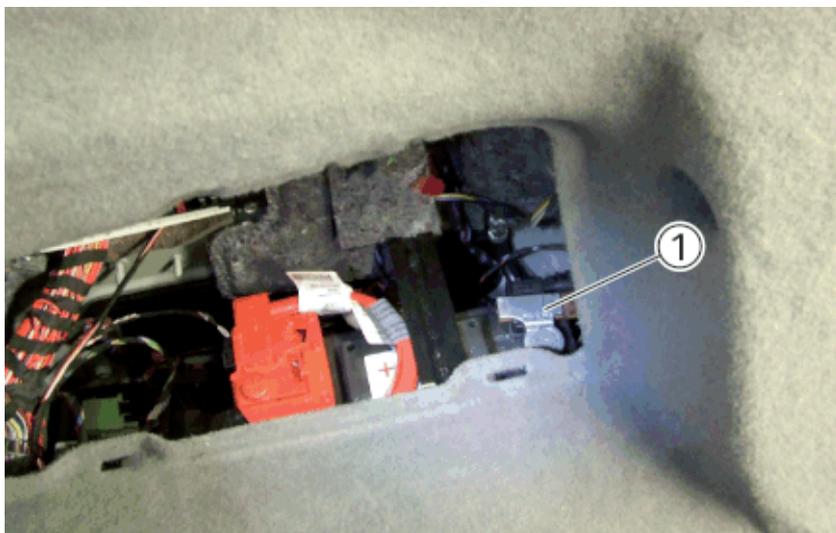


3. ナット(1)を緩め、バッテリー マイナス配線(2)を上へ抜き取ります。  
バッテリー マイナス配線との接触を防ぐため、バッテリー マイナス極を覆ってください。

。 **12V 補助バッテリーを遮断します。**

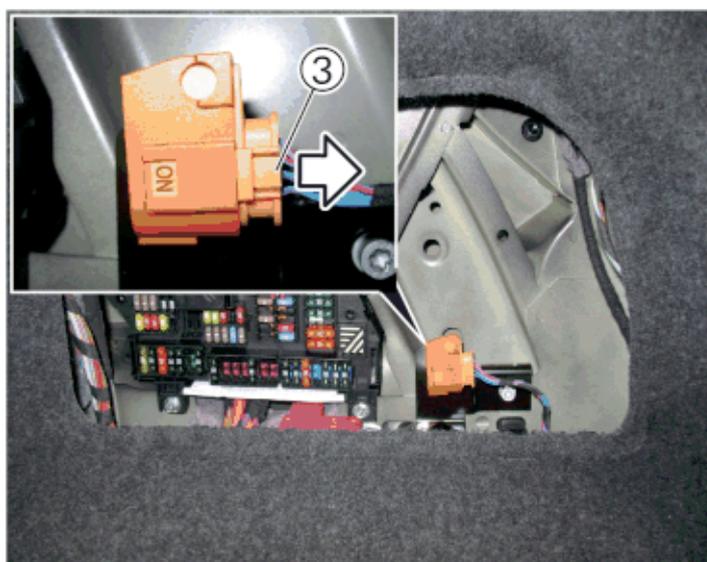
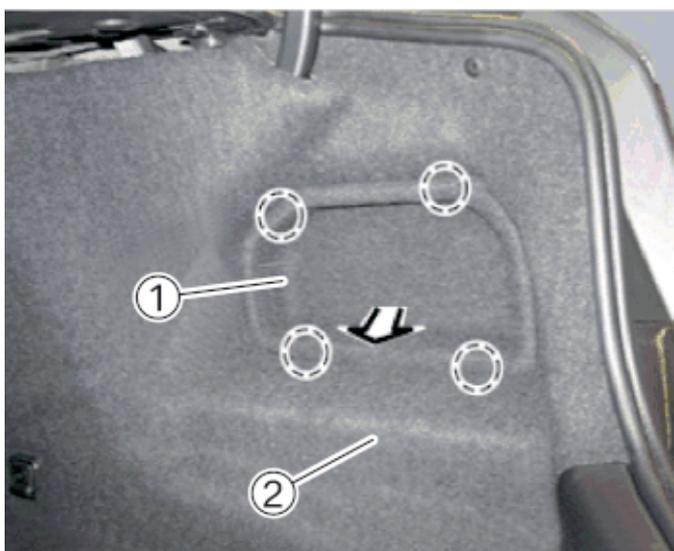


右ラゲッジ ルーム カバー(2)のサービス フラップ(1)を取り外します。

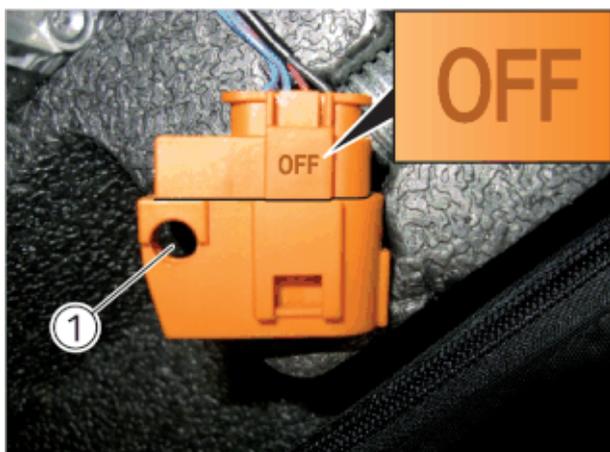


ナットを緩め、バッテリー マイナス配線(1)を上へ抜き取ります。  
 バッテリー ターミナルに触れないように、バッテリー マイナス配線を覆います。

。ハイボルテージシステムの作動解除(無電圧状態に切替える)バリエーション 2



1. ラゲッジ ルームを開く。
2. 右ラゲッジ ルーム カバー (2) のサービス フラップ (1) を取り外します。
3. ハイボルテージ安全スイッチのコネクターをロック解除し (3)、矢印方向に引き離します。



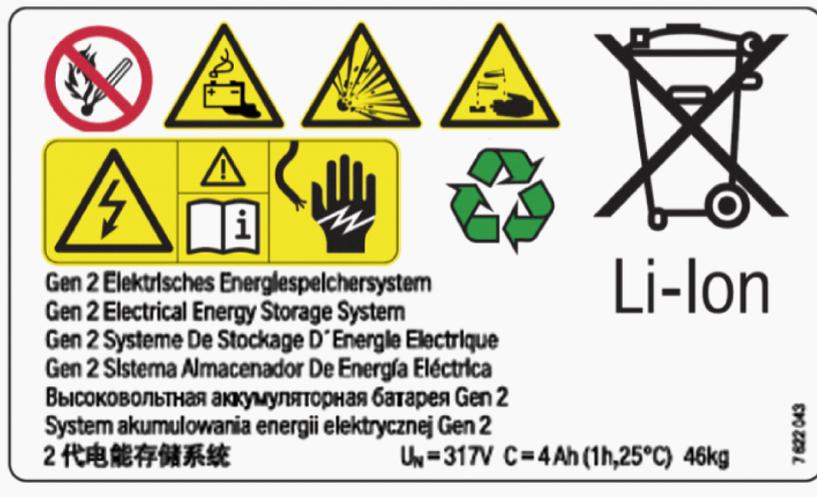
ポア(1)が完全に開きコネクターの文字「OFF」が見えれば、ハイボルテージシステムは作動解除されています。

意図せずハイボルテージシステムを作動させることのないように、この開いたボア(1)に南京錠などを取り付けることができます！

**注意事項:** コネクター接続は完全に分離できません。

ハイボルテージバッテリーはラゲッジルームカバーの下部に位置しています。

ハイボルテージバッテリーの識別ラベル:



右ハイボルテージコンポーネントの識別ラベル:

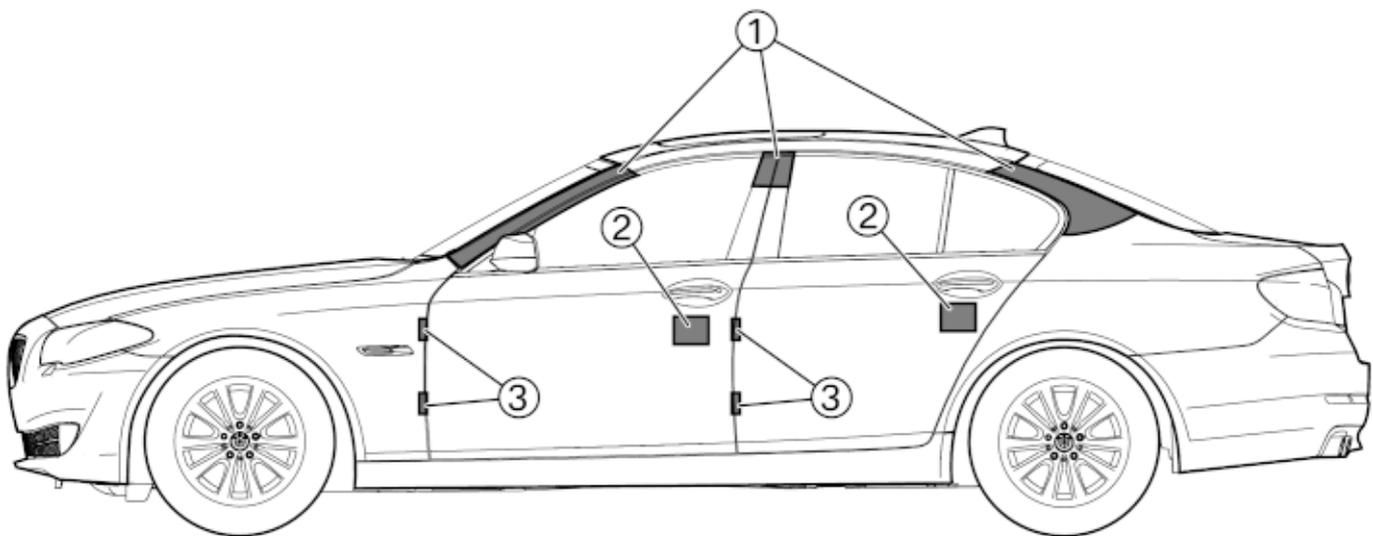


高圧線(1)の識別ラベル(絶縁体/オレンジのジャケット)。



## 車両の開放

これらの注意事項は、訓練を受けたレスキュー隊員にのみ適用されます。この他さらにセイフティシステムの機能および作動方式、ならびに車両特性に関する知識が必要となります。



1. 面は、ルーフを切断することのできる領域を示しています。

ボディを切断するための前提条件は、最新の高性能特殊カッターです。旧式の油圧カッターでは負担が大きすぎるかもしれません。

高性能特殊カッターは、訓練を受けた人員によって専門的かつ適切に使用されなければなりません。

2. ドア ロック

3. ドア ヒンジ

## 重要なインフォメーション

隊員のためのインフォメーションに注意してください ( 救急ガイド を参照 ) 。